

# 地元小学校5年生が工場見学

## 3日間で児童約80人が参加

### 池田鉄工(東京)

生を対象に、工場見学を

である大野台小学校の5年生を対象に、工場見学を

具の扱いに苦心していたも

東京都の池田鉄工(東京)は、地域貢献などを主目的として、同社相模原工場(神奈川県相模原市南区)の地元3~5日の3日間で児童約80人が工場を訪れた。池田社長が同社で作る製品について紹介した後、従業員による安全配慮の下、児童たちを班分けして「模型組立体験」「工場見学」などを実施した。

この、模型が組み上がるころには慣れた手つきで作業を行っていた。工場見学では、従業員がコラム切断機の仕組みなどを工程の流れとともに説明。また、溶接作業を見学するための遮光メガネを着用しての見学や、火花が飛び散るガス切断の見学では、多くの児童は従業員の手元を興味深くじつと見つめており、出来上がった星形の鋼材に驚きを隠せない様子だった。



女性従業員が丁寧に指導



ガス切断作業に見入る児童たち

その後、児童から「クレーンを運ぶときの方向指示がなぜ東西南北なのか」「溶接するときの温度は何度くらいか」「家を鉄骨で建てる

場合に、ボルトは何本くらい必要か」など具体的な質問が多く寄せられ、従業員や池田社長が分かりやすくその疑問に答えた。

最後に、池田社長が「私たちが作っている鉄は、切れ端であってもそれを集めて溶かし、再利用することができます。環境に良い素材だ。今日皆さんにお渡しするのは、今、問題になっているプラスチックの海洋ごみを集め、買い取ったものをステッカーにして再利用したものです。皆さんも海でごみを見かけたら拾ったり、分別したりするように心掛けてほしい」と環境配慮に言及し、児童ら全員にステッカーと付箋をプレゼントした。